



地域の水産資源を生かして地域の企業と協働

事業所・団体プロフィール

名 称:佐伯市立米水津中学校
住 所:佐伯市米水津大字浦代浦1707-3
代表者:校長 赤峰 武壽

関係する県の施策

子どもの力と意欲を伸ばす
キャリア教育の推進事業
「大分っ子『未来創造プロジェクト』」

具体的な取組

探究課題を「地域産業を未来につなげよう」と設定し、「米水津の魅力」を多くの人に知ってもらい、また、「持続可能」なものとなるよう取り組んできた。2年目となる今年度は、佐伯市の主要産業「水産業」に焦点を当てた取組を行った。

毎年行っているひじき収穫やブリの捌き方教室をはじめ11月に行われた「全国豊かな海づくり大会」の取組から、米水津の水産資源の豊富さに気づくことができた。その中で、米水津の特産である干物を、若い世代に食べてもらうためにはどうすればよいか考え、新たな調理方法を考えた。

【特徴】

- 米水津のブリ養殖業者を訪問し、養殖の様子やブリの捌き方を体験したり、試食したりする活動を実施
- 地元の水産加工業者の方を講師として学校に招いて、干物の作り方や海産物の消費などについて話を聞き、アジの干物を使った新たなレシピの考案等、地域企業と協働で実施



関連するSDGs

11 住み続けられるまちづくりを



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう

